



【河野小学校】

<第3学年：河野っ子調査隊>

「オオキトンボの里を守ろう」>

河野地区は、絶滅危惧種の「オオキトンボ」が日本で一番見られる地域である。そこで、総合的な学習の時間でオオキトンボについて調べる計画を立て、学習を進めている。7月には、NPO法人「森からつづく道」から講師の方々を招き、オオキトンボの生態や生息状況などを詳しく教えていただいた。その後、ヤゴが羽化する様子を観察し、10月にはオオキトンボの生息地である田村池に出向き、産卵や交尾の様子を観察した。児童は調査を通して、地元の農家の方々が草刈りや池の水の管理などを行うことで、オオキトンボの産卵に適した環境を保つことができていることに気付くことができた。全国的に数が減少している、オオキトンボが見られるふるさとのすばらしさを実感するとともに、今の豊かな自然を残していきたいという意識を高めた。



<第4学年：飛べ！ぼくらのホタル>

校区内を流れる河野川に生息するホタルについて調べる計画を立て、5月に地域のホタル博士（風早ホタル育成会）を招き、学習会を開いた。ホタルの生態や、地域に生息しているホタルの種類などを学習した。6月には、ホタルの幼虫を観察し、飼育活動を開始した。餌となるカワニナを与えたり、水替えをしたりするなどの世話をを行った。10月には、1mmほどの大きさから、2cm近くに大きく成長したホタルを河野川に放流した。その際、日赤奉仕団に御協力いただき、川の周りを清掃した後に、幼虫を河野川に放流した。地域の方々の「美しい河野川を残していこう」と努力する姿を知るとともに、ホタルの住む地域の一員として、川の環境保全のために自分ができることについて考えを深めた。

